



Information Attendant / Ganymede with File Search

ファイル拡張子登録マニュアル

2018 年 04 月 08 日

Ver 1.00

FCS – Techno

お願い

- ・本書に関する著作権は FCS-Techno社に帰属します。FCS-Technoの事前の許可なく、本書の一部あるいは全部を複写・複製、再配布することを禁止します。
- ・本書および本製品は、予告なく変更されることがあります。
- ・本製品の使用効果については一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・本書にご不明な点、誤植、記載漏れ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。

本書内に記載されている会社名、製品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

[illegible]

目次

改訂履歴	i
目次.....	ii
1. 初めに.....	3
1.1. 本書の目的と対象読者	3
1.2. 複数アカウントを用いた導入について.....	3
1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境.....	3
2. Ganymede with File Search ファイル拡張子の登録.....	4
2.1. ファイル拡張子の選択画面の起動.....	4
2.2. ファイル拡張子の選択画面	5
2.3. 重複ファイルの検証登録	6
2.4. 重複ファイルの表示状況	7

1. 初めに

Ganymede with File Search をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本書は、Windows Server OS に対しての本製品の導入、及び環境設定を行うに当たっての作業手順と操作方法に関する解説書です。

Windows Server の構成内容によっては本製品の導入が行えない場合もあります。

本製品の導入を実施する前に一読下さるようお願い致します。

1.1. 本書の目的と対象読者

本書の目的は、Ganymede with File Search の導入および利用を検討され、また導入する際に必要となる「Windows Server 役割の概要」をご理解されているユーザー様の設定支援を目的として記載しております。

- Windows Server システム管理者としてアカウントを付与されている。
- Windows IIS に関してご理解されている。
- Web サーバーの役割に関してご理解されている。
- IIS における認証方法の違いをご理解されている。
- ネットワーク環境における IIS への接続環境の構成状況をご理解されている。
- Windows フォルダおよびファイルのアクセス許可権の設定に関してご理解されている

1.2. 複数アカウントを用いた導入について

本製品の導入を実施したユーザーアカウントを、管理者アカウントとして稼働環境に対して登録を実施します。本製品の導入後は同一アカウントでの操作をお願いします。

1.3. 対象とする OS、及び推奨動作環境

Ganymede with File Search の推奨 OS として「**Windows Server OS**」を推奨します。

クライアント OS への導入も行えますが、稼働環境不可として導入を中止する場合があります。

- CPU : Windows Server 2008R2 がストレスなく稼働する CPU でご利用下さい。
- OS : Windows Server 2008R2 以上、64 ビット OS、尚、Server Core への導入は行わないで下さい。
- メモリー : 4GB 以上、推奨 8GB 以上
- HDD : 導入ドライブの空き容量 300MB 以上

導入ドライブ空き容量ですが、管理対象のファイル数の増加によっては更なる空き容量を必要とする場合がありますので、十分な空きを確保して下さい。

Ganymede with File Search は、全てのファイル操作の基準はファイル拡張子を基準として行います。操作対象の拡張子の選択は必ず行って下さい。

尚、ファイル拡張子は「**ドライブ単位**」で集約管理します。ドライブが異なる場合、別管理となります。但し、検索ファイルを表示する際は同一拡張子として結合収集いたします。

[illegible]

ファイル拡張子の選択画面を起動します。尚、ファイルメニューから起動した場合、「**検索コアエンジン**」はファイル検索処理を中断します。

尚、仮想フォルダに対するファイル拡張子の紐付け処理の場合は、検索コアエンジンは通常の処理状態となります。

2.2. ファイル拡張子の選択画面

操作対象の選択			対象の拡張子の登録	
拡張子	重複確認	存在するドライブ	ファイル件数	説明
<input checked="" type="checkbox"/> exe	無し	C%, D%, E%, F%	169	アプリケーション
<input checked="" type="checkbox"/> gif	有り	C%, F%	234	GIF イメージ
<input checked="" type="checkbox"/> h	無し	D%	9	H ファイル
<input checked="" type="checkbox"/> htm	有り	C%, D%, F%	102	HTML ドキュメント
<input checked="" type="checkbox"/> html	有り	C%, F%	51	HTML ドキュメント
<input checked="" type="checkbox"/> ilf	有り	C%, D%, E%	1,311	ILF Document
<input checked="" type="checkbox"/> ini	無し	C%, E%, F%	164	構成設定
<input checked="" type="checkbox"/> jpg	有り	C%, D%, F%	76	JPEG イメージ
<input checked="" type="checkbox"/> js	無し	C%	4	JavaScript ファイル
<input checked="" type="checkbox"/> log	有り	C%, D%, E%, F%	70	テキストドキュメント
<input checked="" type="checkbox"/> msi	無し	C%, E%	14	Windows インストーラー パッケージ
<input checked="" type="checkbox"/> pdf	有り	C%, E%	24	PDF ファイル
<input checked="" type="checkbox"/> png	有り	C%	11	PNG イメージ
<input checked="" type="checkbox"/> rtf	無し	C%	16	リッチ テキストドキュメント
<input checked="" type="checkbox"/> txt	有り	C%, D%, E%, F%	153	テキストドキュメント
<input checked="" type="checkbox"/> vbs	有り	C%	21	VBScript Script ファイル
<input checked="" type="checkbox"/> zip	有り	C%	2	圧縮 (zip 形式) フォルダ
<input type="checkbox"/> 000	無し	C%, D%, E%	142	拡張子無し
<input type="checkbox"/> 0001e	無し	C%	1	000 ファイル
<input type="checkbox"/>	無し	E%	13	0001E ファイル

トータル件数: 876 23/120 14/60 23 14 更新 戻る

【拡張子選択】

- ・操作対象の拡張子をチェックして下さい。
- ・操作対象の拡張子のみが重複確認が行えます。
- ・チェック状態の拡張子のチェックを外して更新した場合、以前の情報は全て初期化します。

【ファイル件数】

- ・すべてのドライブのファイル数を合計した件数を表示します。
- ・ドライブ単位での集約を行う際、集約可能なファイル数には上限があります。
- ・各ドライブ上に存在する実ファイル数とは異なる場合があります。

【ファイル拡張子情報】

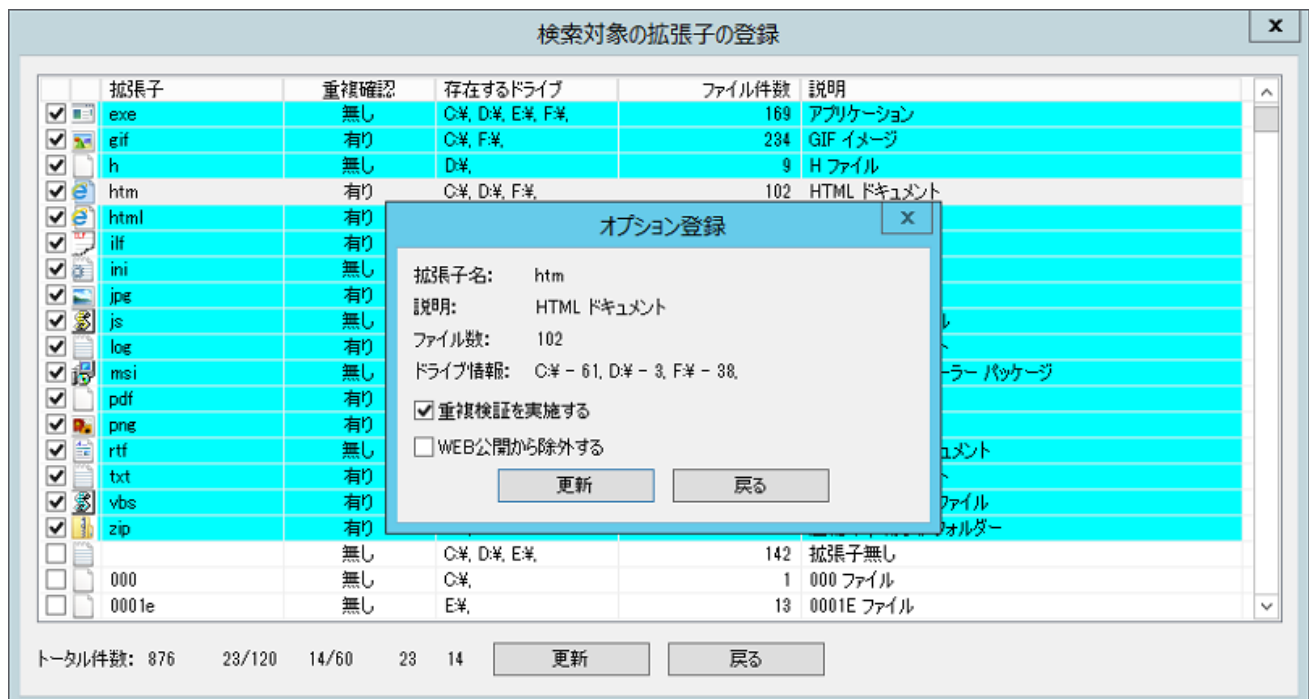
- ・トータル件数は、全てのドライブ上に存在する拡張子の合計数です。
- ・「23/120」表記は、今現在の Edition で操作可能な拡張子の上限は「120 拡張子」であることを示し「23 拡張子」が操作対象の拡張子として選択中であることを示しています。
- ・「14/60」表記は、今現在の Edition で重複確認が可能な拡張子の上限は「60 拡張子」であることを示し、「14 拡張子」が重複確認を行う拡張子として設定中であることを示しています。
- ・「23」は、操作対象の拡張子の選択を変更する都度、その選択中の件数を表示します。
- ・「14」は、重複確認の拡張子の選択を変更する都度、その設定中の件数を表示します。

【説明】

- ・ファイル拡張子に基づく OS が通知した情報を表示しています。

2.3. 重複ファイルの検証登録

重複検証を行う拡張子情報の行をマウスボタンダブルクリックして下さい。
オプション画面を起動します。



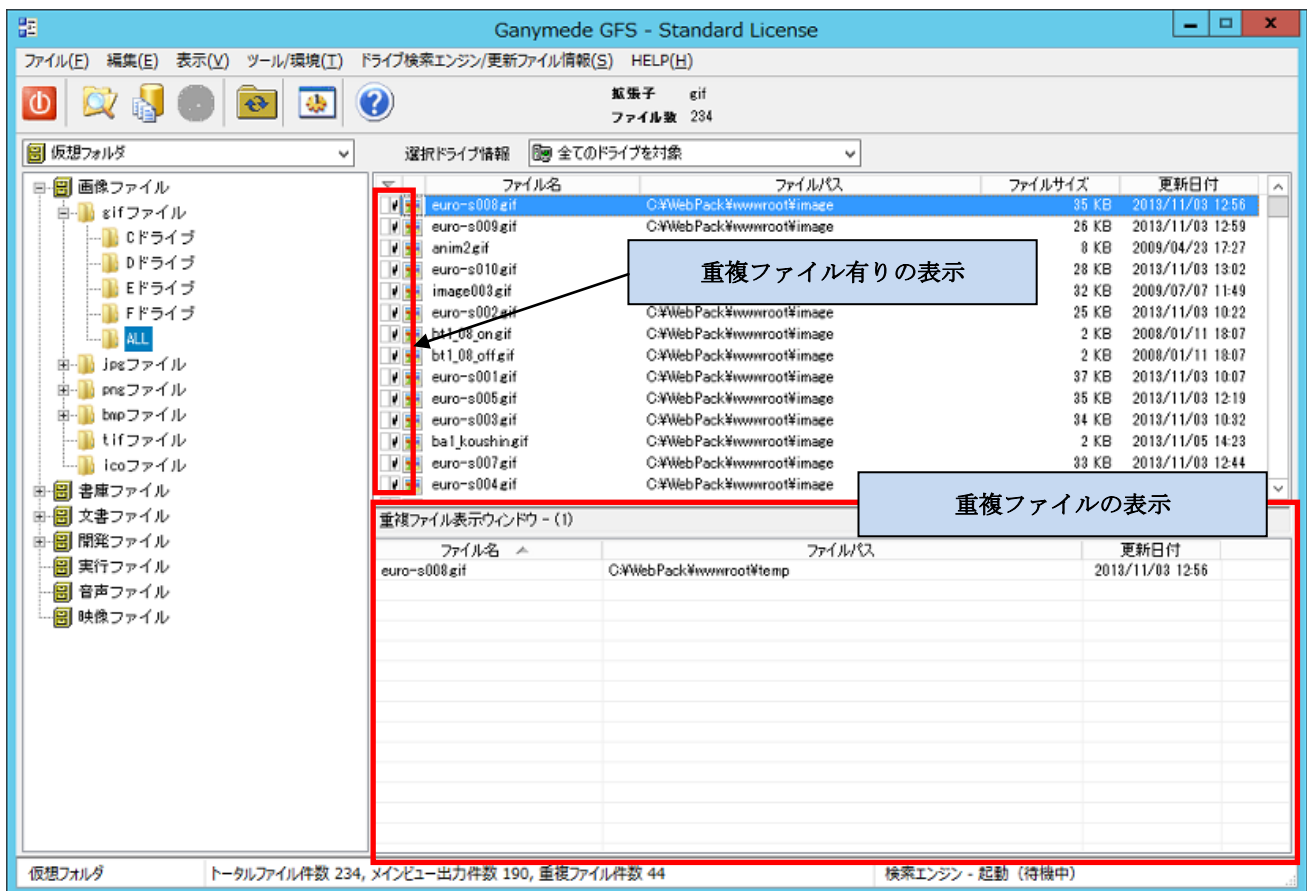
【重複検証を実施する】

- ・認識したファイルの重複検証を行う場合にチェックします。
- ・重複確認は全ドライブの全てのファイルに対して行います。
- ・重複検証を実施する際の重複確認の対象は、ファイルデータです。
- ・重複確認の手法は、ファイルデータの「MD5 ハッシュ値」を求め、その求めた値を比較することで重複の判定を行います。
- ・重複確認では実ファイルデータの読み込みを行いますので、ファイルのサイズおよびファイルの数によっては時間を要する場合がありますので、重複確認の設定は慎重に行って下さい。
- ・重複確認では、ファイル更新日付けの変更が無い場合は再計算を行いません。
- ・重複確認を行うから行わないに設定を変更した場合、MD5 ハッシュ値は初期化されます。

【WEB 公開から除外する】

- ・WEB 公開から除外する場合にチェックします。
- ・WEB サイトに対しては非公開にしたい拡張子の場合にチェックして下さい。
- ・ドライブ単位での設定は行えません。
- ・ファイルサーバー上での処理に関しては、何らかの影響を与えるものではありません。

2.4. 重複ファイルの表示状況



ファイルメニューの「表示」 → 「重複ファイル表示」を選択して下さい。

下位の情報表示画面を重複ファイル情報の表示画面に切り替えます。

重複ファイルと判定したファイルに関しましては、WEB サイト側への表示は行いません。

WEB サイト側に表示されるファイル情報は、メインリストビュー内に表示されているファイルとなります。